

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名： 福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園
- 2 指定管理者名： 社会福祉法人 福岡コロニー
- 3 指定期間： 平成29年4月1日～令和4年3月31日
- 4 施設設置目的： 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号）第八十三条第二項の規定に基づき、障害者の自立を支援し、就労の機会の提供その他必要な支援を行うため、福岡県障がい者就労支援ホームあけぼの園を設置する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
  - （1）点検方法： 事業報告書、ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - （2）点検結果： 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
<p>①公共性（公益性）の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労移行支援事業の利用者を中心に、多くの障がい者が一般就労に移行できるよう必要な訓練及び支援を実施していく。</li> <li>・就労継続支援B型事業の利用者を中心に、平均工賃の向上に取り組んでいく。</li> <li>・生活介護事業の利用者を中心に、重度の障がい者の活動（表現）の場を充実させていく。</li> <li>・各施設種別協議会に加入し連携・情報収集を図っていく。</li> <li>・地域の行政区と連携を図っていく。</li> <li>・社会福祉法人としての公益的な取組みを充実させていく。</li> <li>・苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を選任し、苦情受付体制を整え、苦情申立人に対して誠意を持って対応していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法に基づく施設入所支援、生活介護、就労継続支援、就労移行支援に取り組んだ。</li> <li>・2020年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を最優先事項として事業運営を行った。就労移行支援事業については、事業の内容から緊急性を除き積極的な受入れを自粛した。施設内で他の事業の利用者に対して、職業訓練プログラムを展開し職業準備性を高めた。一般企業で活躍している利用者には、関係機関（障害者就業・生活支援センター）と協力して電話等で支援し、コロナ禍においても安心して仕事が継続できるように支援を行った。（実績：就職0件、定着支援延べ3件、施設外作業延べ71件）</li> <li>・就労継続支援B型事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい受注状況となったが、地域の企業等に積極的に働きかけ、落ち込みを最小限とした。感染予防のため公園清掃の施設外作業は自粛となったが、新たな簡易作業を導入し作業量の確保に努めた。</li> <li>・生活介護事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のイベントの多くが自粛となり活動の場が大幅に減少したが、施設内での発表の機会やイベントを企画し、安定して通所できるように努めた。通所自粛期間中は、定期的に電話連絡を入れ状況確認を行った。</li> <li>・法人のA型事業（印刷事業）における障がい者雇用（精神・発達障がい）の支援事例を共有し、支援スキルの向上を図っている。また、印刷に関連する作業（封筒・名刺印刷、チラシ封入、宛名ソール貼り等）を受注することで、多様な障がいに対応できる作業環境となっている。</li> <li>・福岡県社会福祉法人経営者協議会の災害対応検討委員会の委員として、災害福祉支援ネットワーク構築推進事業（DWT災害派遣福祉チーム）の立ち上げに協力し、福岡県の派遣チーム員として登録を行っている。</li> <li>・大野城市における社会福祉法人連絡会の事務局施設として、コロナ禍における地域の困りごとや法人間での情報共有を行い、経済困難者への食料支援、引っ越し支援を行った。</li> <li>・福岡県社会就労センター協議会や福岡県身体障害者施設協議会の役員施設を引き受け、コロナ禍における研修会の企画・運営等に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・苦情対応規程や苦情受付フローチャートを整備し、第三者委員として弁護士を配置。年に2回、第三者委員と各事業所の担当者で、苦情内容等の検証を行っている。</li> <li>・利用者の要望が多かった食堂棟の照明改修工事を行い、明るい環境で食事を取ることができるようになった。また、災害と防犯対策として、誘導灯照明及び防犯カメラを整備し、安心して生活ができる環境となった。</li> </ul>
<p>②施設利用及びサービス向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の安全衛生委員会を通じて、リスク管理を行い安全で快適なサービスを実施していく。</li> <li>・ホームページや機関誌による情報発信を図っていく。</li> <li>・地域の障がい者支援団体の一つとして、障がい者団体や支援団体等の活動に協力・協働していく。</li> <li>・地域と交流するイベントを企画し障がい福祉への理解を高めていく。</li> <li>・社会福祉関連資格等の実習生を積極的に受け入れ、社会資源の一つとしての役割を果たしていく。</li> <li>・利用者満足度調査を実施し、当事者目線でのサービス満足度を確認し、結果については所内に掲示し利用者へ知らせしていく。</li> <li>・利用者自治会や家族との懇談会を実施し、要望等の確認を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用定員：施設入所 40人、生活介護 16人、就労移行 6人、就労継続支援B型 38人。</li> <li>・平均利用者数：施設入所 30.7人（前年比-2.5%）、生活介護12.9人（前年比+5.7%）、就労移行 0人（前年比0%）、就労継続支援B型31.8人（前年比+2.9%）</li> <li>・施設稼働率（平均利用率/定員）：施設入所76.7%（前年比-2.6%）、生活介護80.6%（前年比+5.7%）、就労移行0.0%（前年比0%）、就労継続支援B型 83.6%（前年比+2.8%）。</li> <li>・就労移行支援事業については、新型コロナウイルスの影響により、新規の受入れを原則自粛した。</li> <li>・毎月の職員会議で、感染症対策、工賃向上のための取組み、重度化・高齢化への支援について検討し、平均利用者数、施設稼働率の向上と維持に努めた。</li> <li>・安全対策、危機管理の取組みとして、施設内に安全衛生委員会（安全班、衛生班、交通班、防災班）を組織し、避難訓練（2回/年）、水害等想定避難訓練（1回/年）、地震想定避難訓練（1回/年）、厨房害虫駆除（6回/年）寮内害虫駆除（1回/年）、交通安全運動（2回/年）、禁煙日（1回/月）、熱中症対策、感染症対策、職場巡視（設備点検等）を計画的に行い、安全で快適な環境整備に取り組んでいる。初めて警察官立会いのもとで防犯研修を行った。</li> <li>・ホームページやブログを活用し、コロナ禍における感染対策や日々の施設のサービス実施状況の発信を行っている。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響による仕事の減少を最小限とするため、各企業と交渉し作業量の確保に努めた。理解のある地元企業の支えにより、作業を確保することができている。新規開拓の結果、地元のインターネット通販業者等と取引を開始することとなり、利用者の活躍の場を広げることができた。【新規開拓2件】</li> <li>・地域で引きこもりとなっていた障がい者の受入れを行い、安定した通所利用ができています。</li> <li>・大野城市障害者施設団体連絡協議会に参加し、当事者団体を含む各種団体関係者とコロナ禍における感染対策等の情報交換を行った。B型事業の売上減少に伴い、地域の行政区へ共同での施設製品のチラシを作成し配布を行った。</li> <li>・利用者満足度調査（匿名のアンケート方式）に基づき、サービスの改善に取り組んでいる。特に設備不良等の要望については迅速に対応している。結果については、家族懇談会や所内に掲示している。</li> <li>・コロナ禍における新しい福祉教育の形として、大野城市社会福祉協議会と関係団体と協力して、オンラインでの福祉教育への取組みを行った。</li> <li>・地域交流に関するイベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛となり、施設のみで実施した。</li> <li>・福祉や教育分野での人材育成のため、感染対策に努めながら実習生の受入れを行った。（実績：社会福祉援助技術実習3名、介護等体験実習生1名、保育実習生2名）</li> <li>・新型コロナウイルスの影響により、感染予防を最優先課題とし、利用者への外泊や外出の自粛の協力を求めることとなった。外出の自粛に伴い、要望に応じて買い物支援や施設内での食を楽しむイベント等を企画した。</li> </ul>

<p>③経営（収支）改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や各関係機関と連携して、地域の福祉ニーズを把握しながら利用者の確保を行っていく。</li> <li>・近隣の特別支援学校、高等学園からの実習・見学に積極的に対応し、利用者の確保に努めていく。</li> <li>・職員による清掃業務の実施や環境整備、備品の管理の徹底、計画的な業務の遂行を行うことで、経費節減に取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営費 R1年度：111,981千円 → R2年度：104,410千円（△6.8%）</li> <li>・利用料等収入 R1年度：123,055千円 → R2年度：129,381千円（+5.1%）</li> <li>・2020年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>職員人件費予算額 65,452千円に対して、実績見込額 65,685千円（目標比±0%、前年比-8.5%）</li> <li>福祉事業活動収入予算額 130,872千円に対して、収入実績額 129,381千円（目標比-1.2%、前年比+5%）</li> <li>福祉事業活動支出予算額 105,545千円に対して、支出実績額 104,410千円（目標比-1.1%、前年比-6.8%）</li> <li>就労支援事業活動収入予算額 9,566千円に対して、収入実績額 9,508千円（目標比-0.7%、前年比-15.9%）</li> <li>就労支援事業活動支出予算額 11,108千円に対して、支出実績額 10,784千円（目標比-3%、前年比-10.2%）</li> </ul> </li> <li>・福祉事業活動収入については、障害支援区分の見直しや新たな加算の取得により、前年度と比較し増収となった。就労支援活動収入については、新型コロナウイルスの影響により減収となっている。各支出については活動の自粛と経費等の見直しにより削減となった。</li> <li>・関係機関と家族と相談し、感染予防に努めながら実習の受入れを行い、翌年の新規利用へと繋がっている。（実績：特別支援学校の実習受入 1校 2名）</li> <li>・入所施設への感染防止のため、緊急事案を中心に見学等の対応を行った。</li> </ul>
<p>④職員確保方策及び健全な財政基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容に応じた専門職員や責任者の配置・確保を行い、また、計画的に研修等を行い資質の向上を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の確保に向けて、スマートフォン等のソーシャル・ネットワーキング・サービスを導入し新規採用に繋がっている。</li> <li>・感染予防とオンライン研修等に対応するための環境整備を実施した。</li> <li>・法人で教育研修規定を整備し、内部研修だけでなく各種協議会等の実施するオンライン研修会へ参加し、専門性とサービスの向上に努めている。（外部研修 9回参加、内部研修 6回実施）</li> <li>・管理者の下に、知識経験のある現場責任者、専門職（看護師、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士）を配置し、良質なサービスが提供できる体制を整えている。</li> </ul>
<p>⑤施設管理上の個別事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令に準じて空間設備、防災設備、ボイラー等、施設の維持保守を適正に行っていく。</li> <li>・サービス提供時に病状の急変等の事態が生じた場合を想定し、主治医や救急医療措置等協力機関との連携を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防設備保守点検 2回/年、建築基準法第12条に基づく定期検査（1回/年）、自動ドア保守点検3回/年、自家用電気工作物保守点検1回/月、電気設備点検 1回/年、ボイラー点検1回/年、貯水槽点検1回/年、厨房内ダクト清掃1回/年、厨房消毒6回/年、樹木消毒2回/年、定期清掃（洗剤洗浄）1回/月、定期清掃（ワックス使用）1回/3月 実施。</li> <li>・毎年、実施している地域との合同の普通救命講習会については、新型コロナウイルスの影響により中止とした。</li> <li>・オゾン発生器を計画的に運用し、新型コロナウイルス等の感染予防と衛生面の向上に努めている。</li> </ul>

## ②点検結果

<p> <input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った）  <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った）  <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり）  <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った）  <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った） </p>	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容に沿って、概ね適切に管理運営がなされている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防対策を適切に講じた上で、管理運営がなされている。</li> <li>・様々な作業を受注することで、多様な障がいに対応できる作業環境となっている。</li> <li>・福祉や教育分野での人材育成のため、感染対策に努めながら実習生の受入れを行った。</li> <li>・利用者満足度調査等により利用者の要望を確認し、サービスの改善に取り組んでいる。</li> <li>・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に努めるとともに、訓練及び支援の質の向上を目指した施設運営が求められる。</li> </ul>
--	--